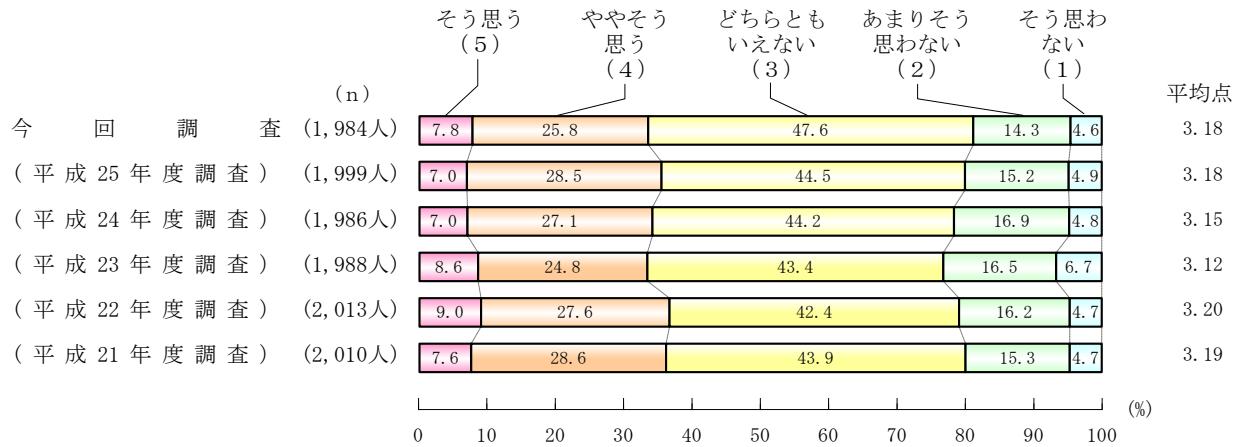
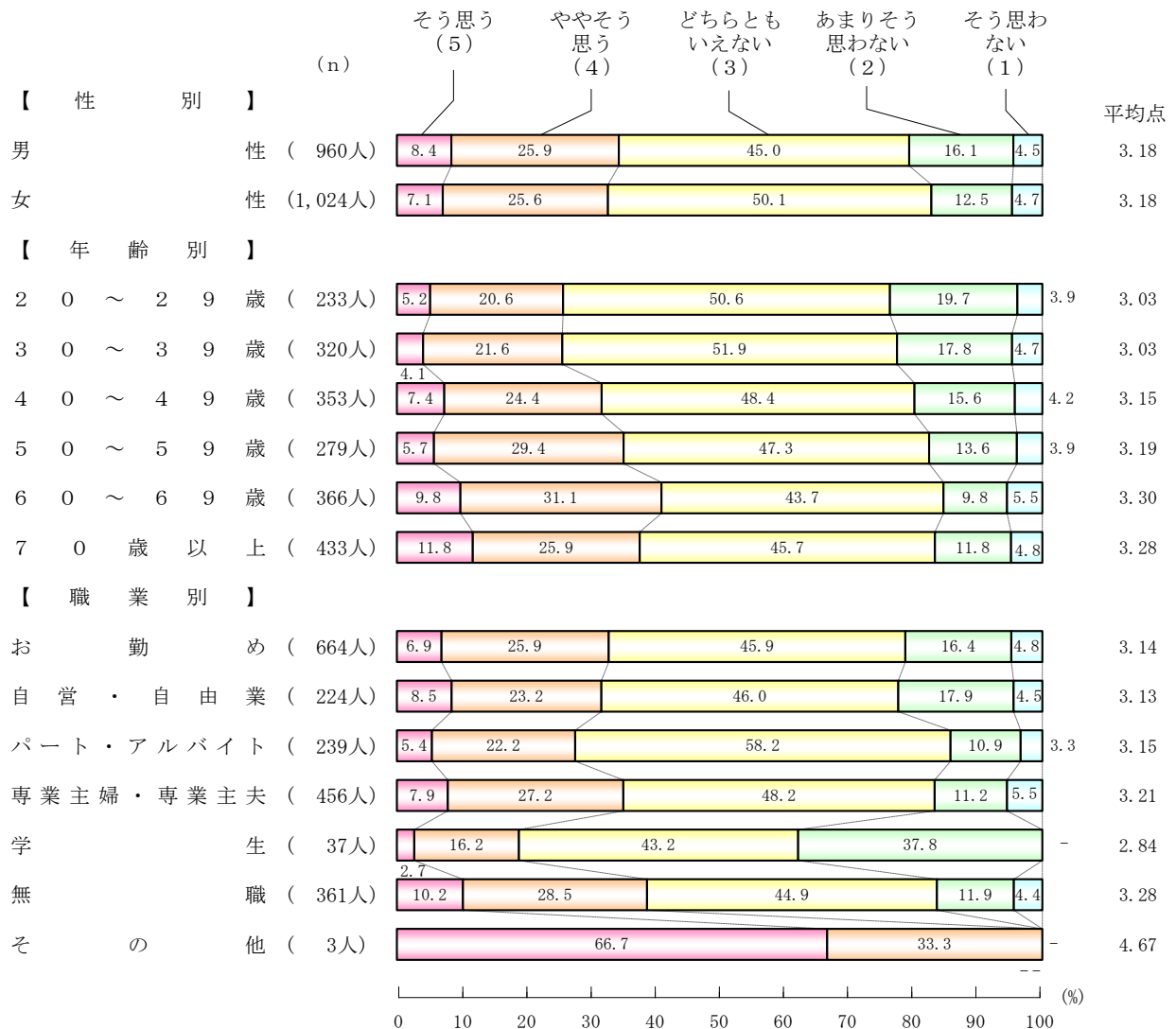


Q 4 (f) 事件の真相が解明されている

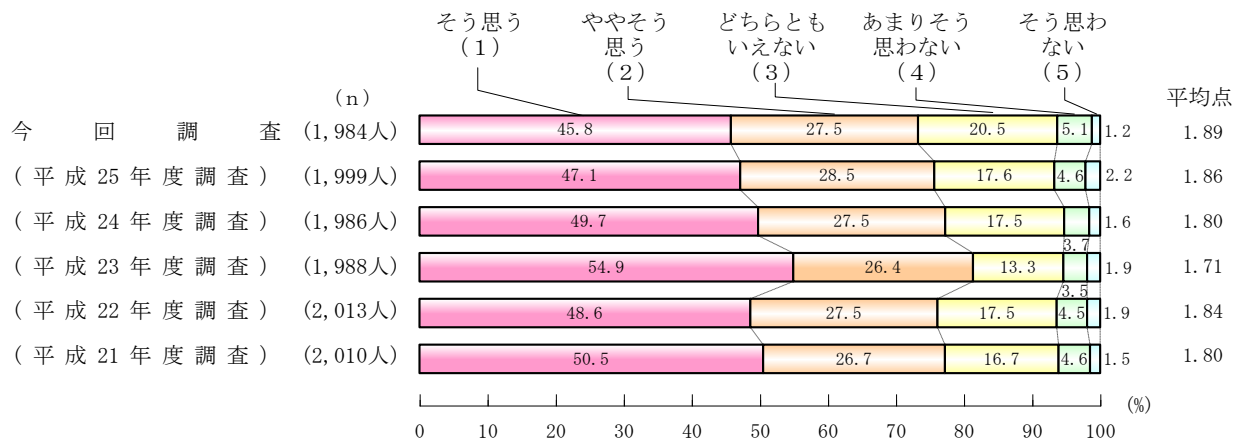


裁判員制度が始まる前の『事件の真相が解明されている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は33.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は18.9%となっている。

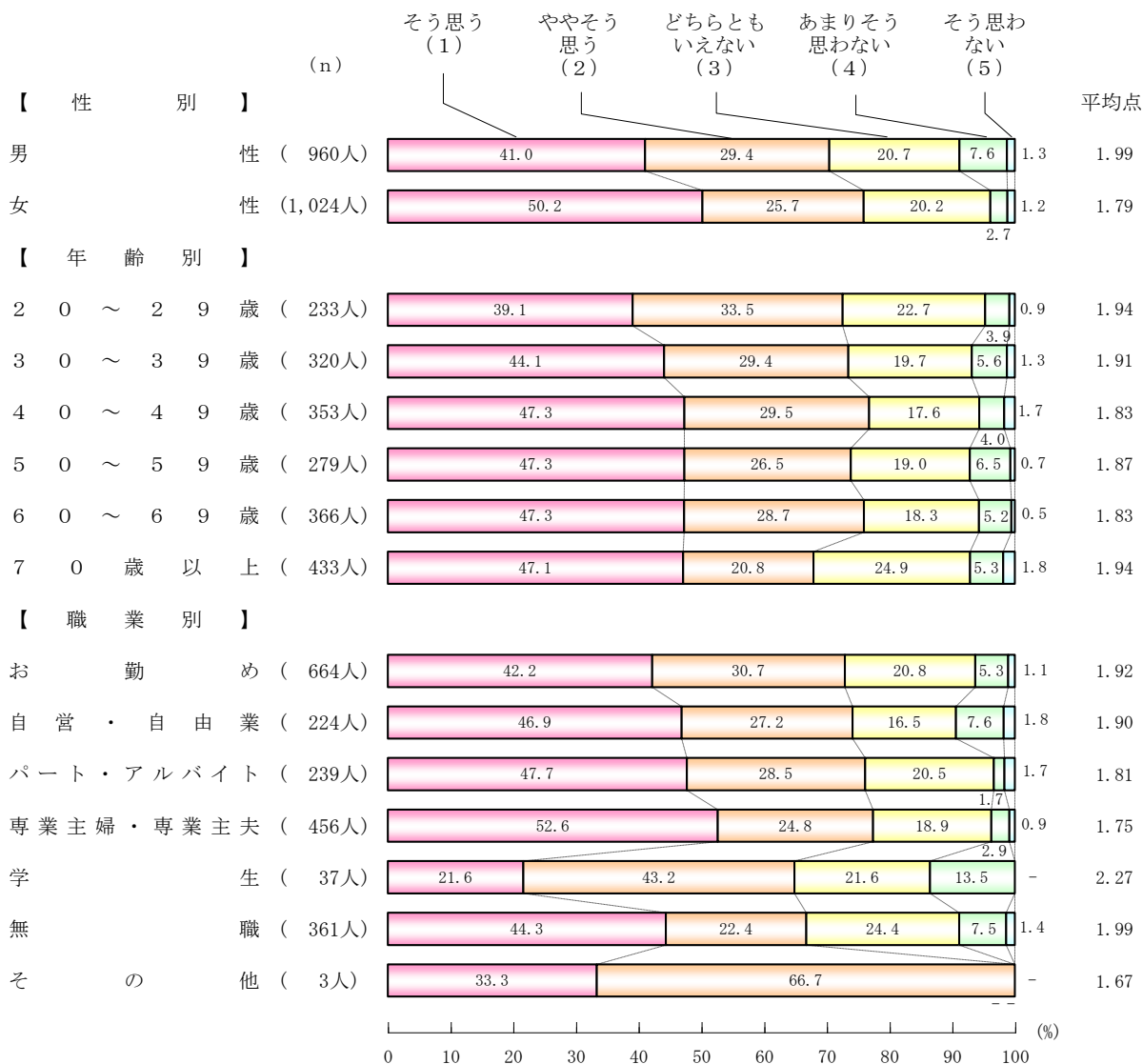


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、60代が最も高く、職業別では、無職が最も高くなっている。

Q 4 (g) 裁判の手續や内容が難しい，わかりにくい

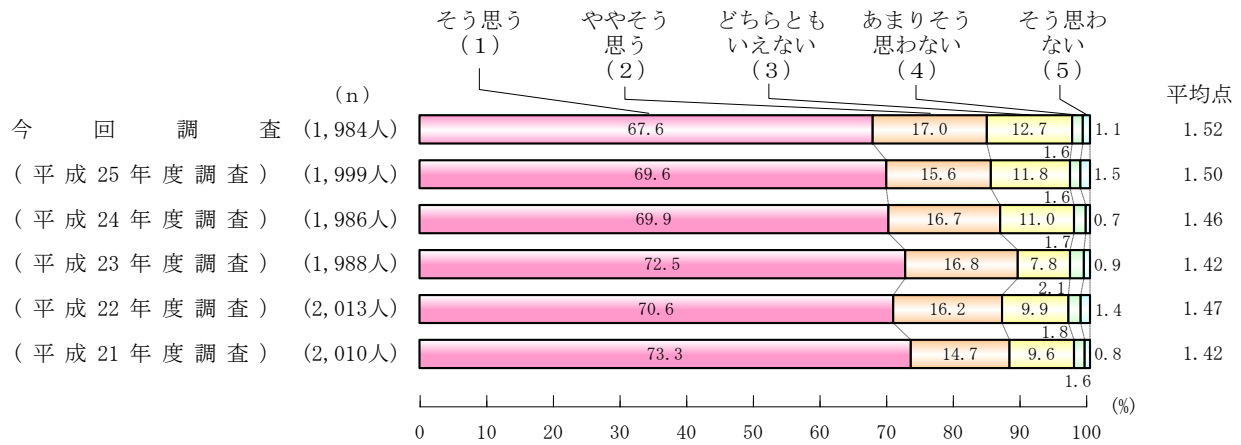


裁判員制度が始まる前の『裁判の手續や内容が難しい，わかりにくい』という印象では，『そう思う』（『そう思う』＋『ややそう思う』）は73.3%，『そう思わない』（『あまりそう思わない』＋『そう思わない』）は6.3%となっている。

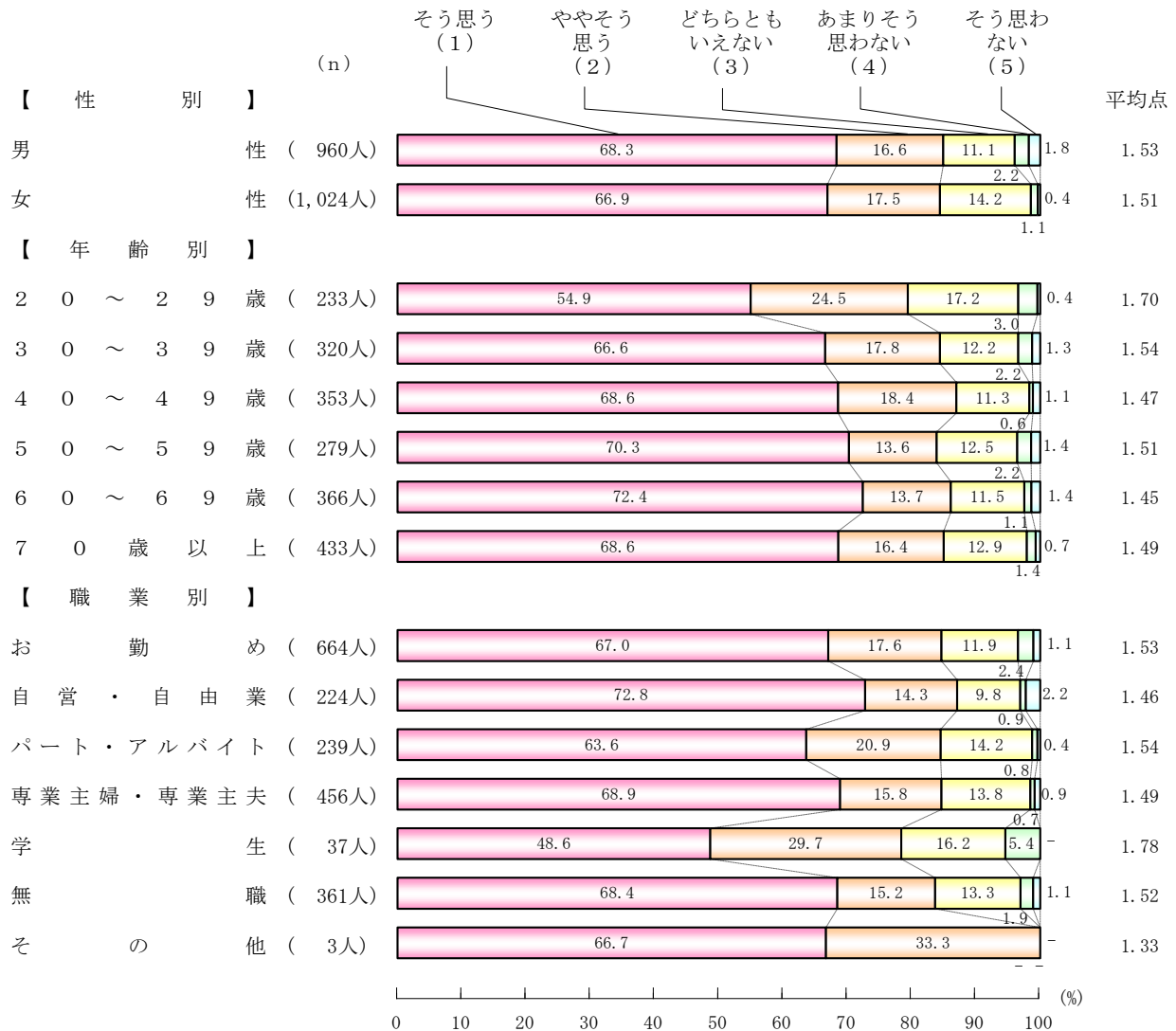


『そう思う』（『そう思う』＋『ややそう思う』）と答えた者の割合は，男女別では，女性で高く，年齢別では，70歳以上が最も低くなっている。職業別では，専業主婦・専業主夫が最も高くなっている。

Q 4 (h) 裁判に時間がかかる

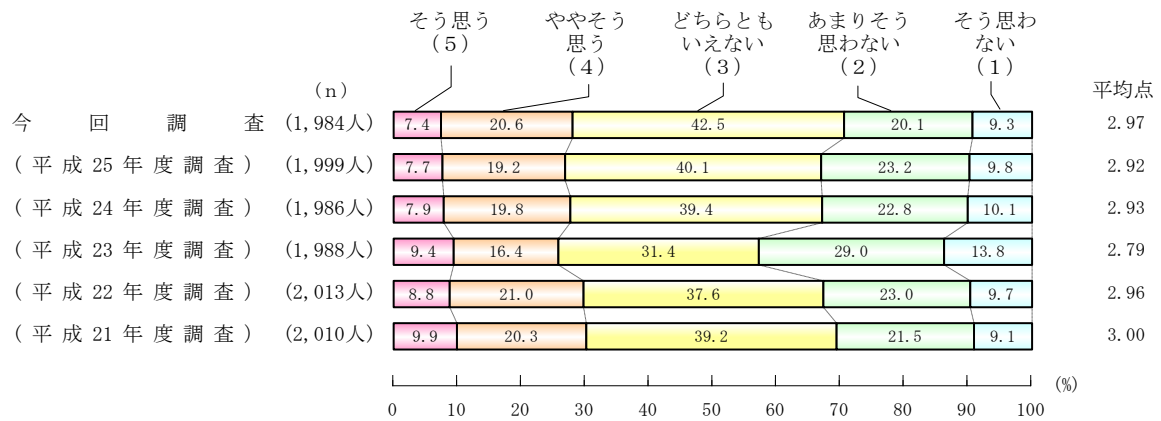


裁判員制度が始まる前の『裁判に時間がかかる』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は84.6％、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は2.7％となっている。

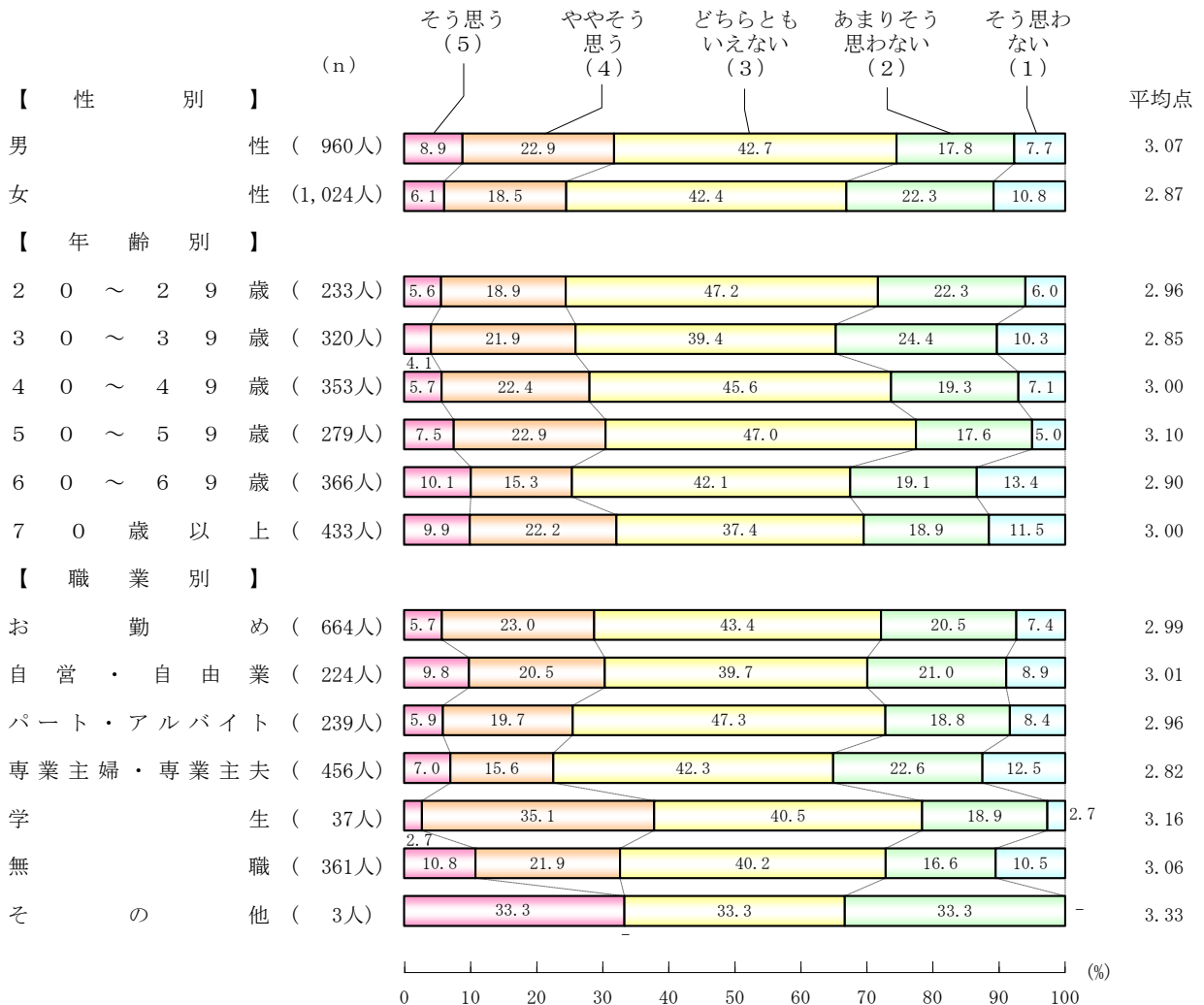


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、20代が最も低く、職業別では、学生が最も低くなっている。

Q 4 (i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が高く自分の問題として考えている



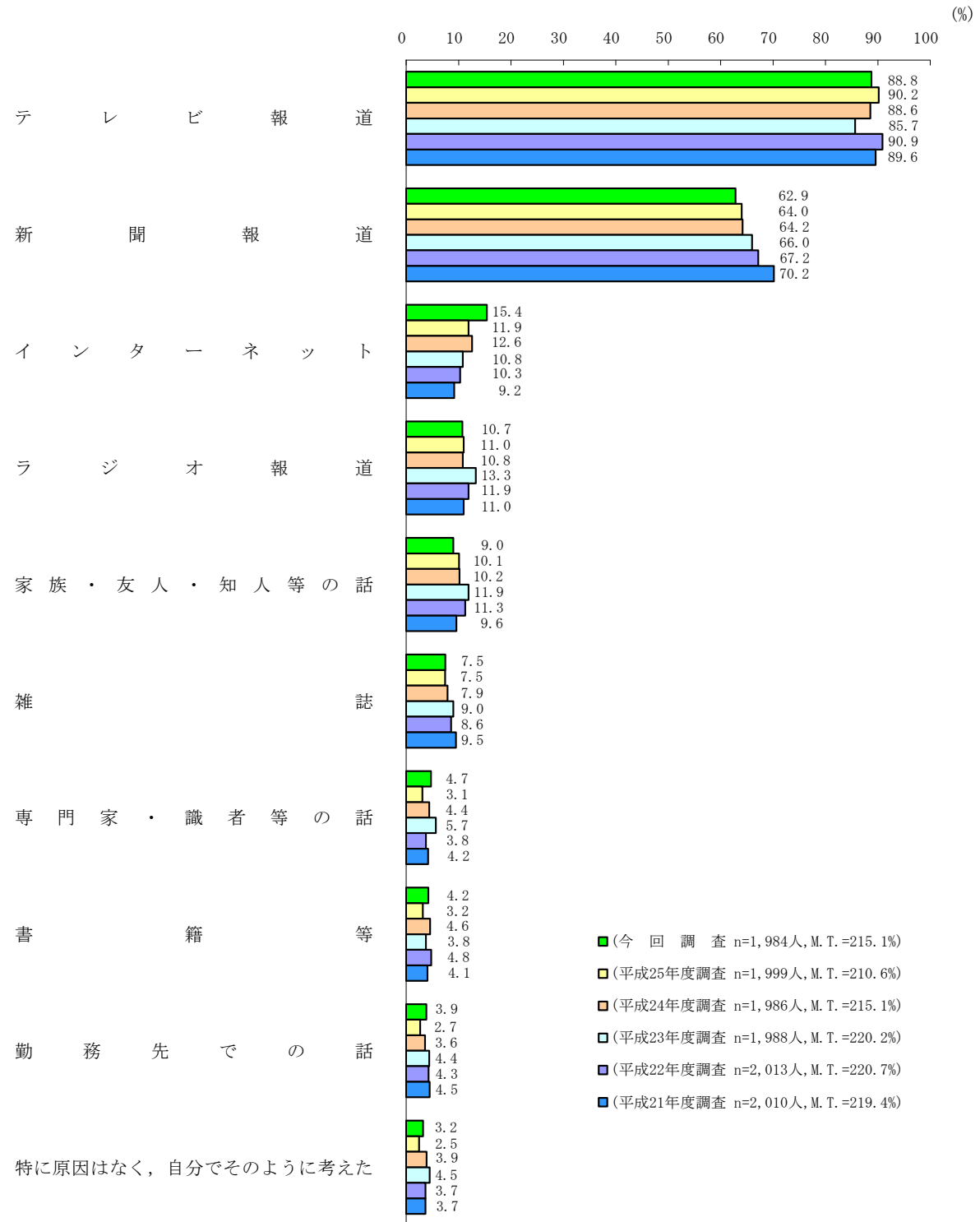
裁判員制度が始まる前の『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が高く自分の問題として考えている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は28.0%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は29.4%となっている。



『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、男性で高く、年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、専業主婦・専業主夫が最も低くなっている。

5 裁判員制度が始まる前の刑事裁判についてQ4の印象を持つことになった原因

Q5 [回答票5] あなたが前問のような印象を持つことになった原因は何ですか。当てはまるものを、次の中から全てあげてください。(M. A.)



(注) 上記以外の選択肢

- 「裁判への関与」(21年度1.5%, 22年度2.1%, 23年度2.1%, 24年度2.1%, 25年度1.6%, 今回調査1.9%)
- 「裁判傍聴」(21年度1.4%, 22年度1.3%, 23年度1.6%, 24年度1.1%, 25年度1.5%, 今回調査1.7%)
- 「その他」(21年度0.5%, 22年度0.3%, 23年度1.0%, 24年度0.6%, 25年度0.5%, 今回調査0.6%)
- 「わからない」(21年度0.5%, 22年度0.1%, 23年度0.4%, 24年度0.5%, 25年度0.8%, 今回調査0.6%)

裁判員制度が始まる前の刑事裁判についてQ4の印象を持つことになった原因を聞いたところ、「テレビ報道」が88.8%と最も高く、次いで「新聞報道」が62.9%であった。以下、「インターネット」(15.4%)、「ラジオ報道」(10.7%)、「家族・友人・知人等の話」(9.0%)などとなっている。

	該当数 (n)	新聞報道	雑誌	書籍等	テレビ報道	ラジオ報道	インターネット	裁判への関与	裁判傍聴	家族・友人・知人等の話	勤務先での話	専門家・識者等の話	特に原因はなく、自分でそう考えた	その他	わからない	回答計
<b>【性別】</b>																
男性	960	65.9	8.6	5.1	87.6	13.2	19.0	2.5	2.2	6.5	5.1	4.6	3.4	0.8	0.4	225.0
女性	1024	60.0	6.4	3.4	89.9	8.4	12.1	1.3	1.2	11.4	2.7	4.9	3.0	0.4	0.7	205.9
<b>【年齢別】</b>																
20～29歳	233	36.9	0.9	3.4	82.4	2.6	24.9	0.4	1.7	12.4	2.1	3.9	4.7	3.4	0.9	180.7
30～39歳	320	48.8	5.0	2.2	90.0	7.2	23.8	3.8	2.5	6.6	4.1	3.1	5.0	-	0.3	202.2
40～49歳	353	60.6	9.3	4.8	90.4	8.8	22.9	2.0	0.6	9.3	5.4	4.5	1.7	0.3	0.3	221.0
50～59歳	279	72.0	11.5	5.4	89.6	11.1	15.8	2.2	2.5	9.0	4.7	6.1	2.5	0.4	0.7	233.3
60～69歳	366	75.4	10.7	6.3	90.2	13.9	9.6	1.1	0.8	8.7	4.4	6.0	3.6	0.3	-	230.9
70歳以上	433	72.5	6.2	3.2	88.5	16.4	2.8	1.6	2.1	9.0	2.5	4.6	2.5	0.2	1.2	213.4
<b>【職業別】</b>																
お勤め	664	59.2	8.7	4.5	89.6	9.8	22.1	2.4	2.1	8.0	6.5	4.4	3.2	0.6	0.5	221.5
自営・自由業	224	62.5	9.8	6.7	87.1	13.4	16.1	3.6	1.8	7.1	1.8	5.8	3.6	0.4	1.8	221.4
パート・アルバイト	239	55.2	5.0	1.7	89.1	7.1	10.9	1.7	1.7	10.0	3.8	4.6	2.9	-	-	193.7
専業主婦・専業主夫	456	62.3	7.0	4.2	89.7	9.4	10.7	0.7	0.7	10.7	2.0	5.5	3.3	0.4	0.2	206.8
学生	37	45.9	-	8.1	73.0	-	40.5	-	-	10.8	-	2.7	5.4	10.8	-	197.3
無職	361	77.3	6.6	3.6	88.6	16.1	8.6	1.7	2.2	9.1	3.3	4.2	3.0	0.3	0.8	225.5
その他	3	66.7	33.3	-	100.0	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	266.7

男女別では、「テレビ報道」は大きな差はみられず、「新聞報道」、「ラジオ報道」、「インターネット」は男性で高くなっている。「家族・友人・知人等の話」は女性で高くなっている。

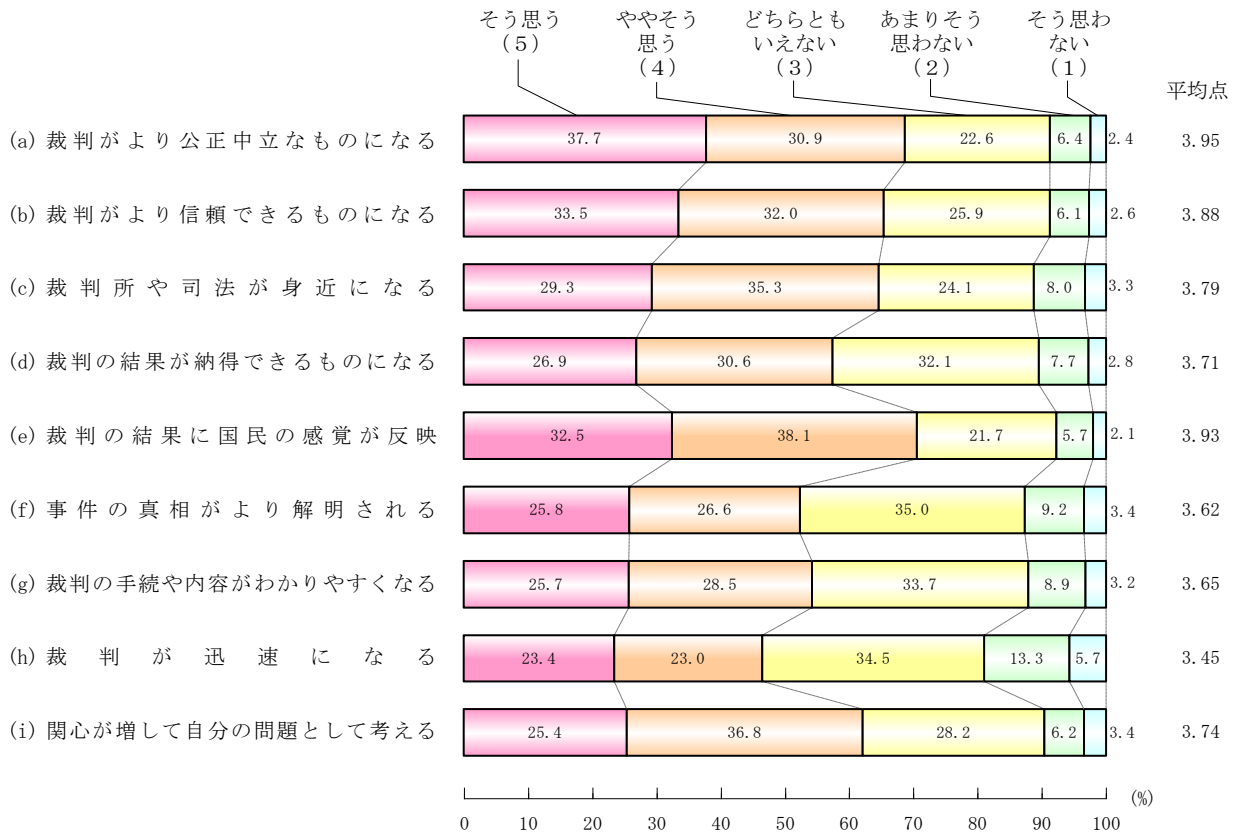
年齢別では、「テレビ報道」は20代で低く、「新聞報道」は50代以上で、「インターネット」は40代以下で、「ラジオ報道」は60代以上で、それぞれ高くなっている。

職業別では、「テレビ報道」は学生で低く、「新聞報道」、「ラジオ報道」は無職で、「インターネット」は学生で、それぞれ高くなっている。

6 裁判員制度の実施により期待すること

Q 6 [回答票 6] あなたが裁判員制度の実施により、期待することは何ですか。次の (a) ~ (i) の項目について、次の中から最も当てはまるものを1つ選んでください。

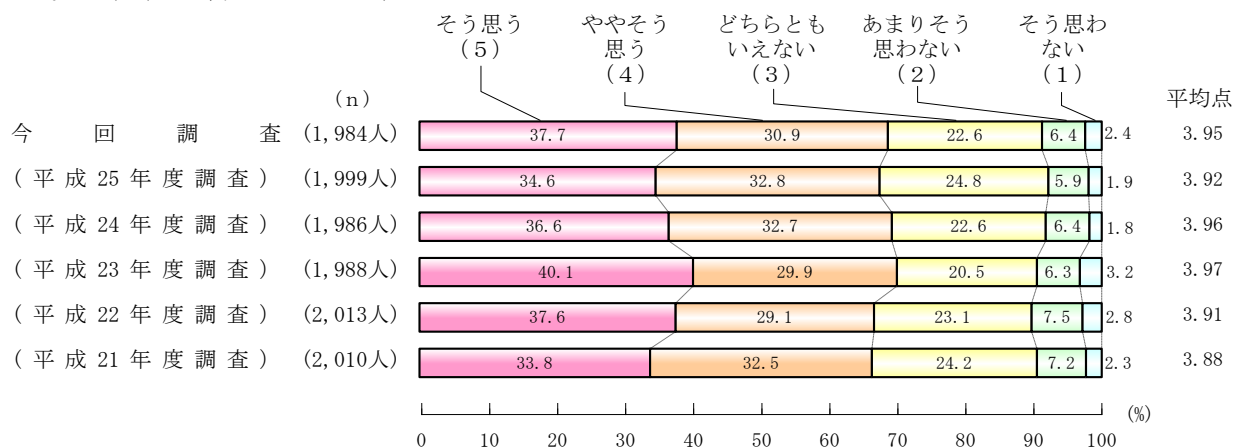
(n=1,984 人)



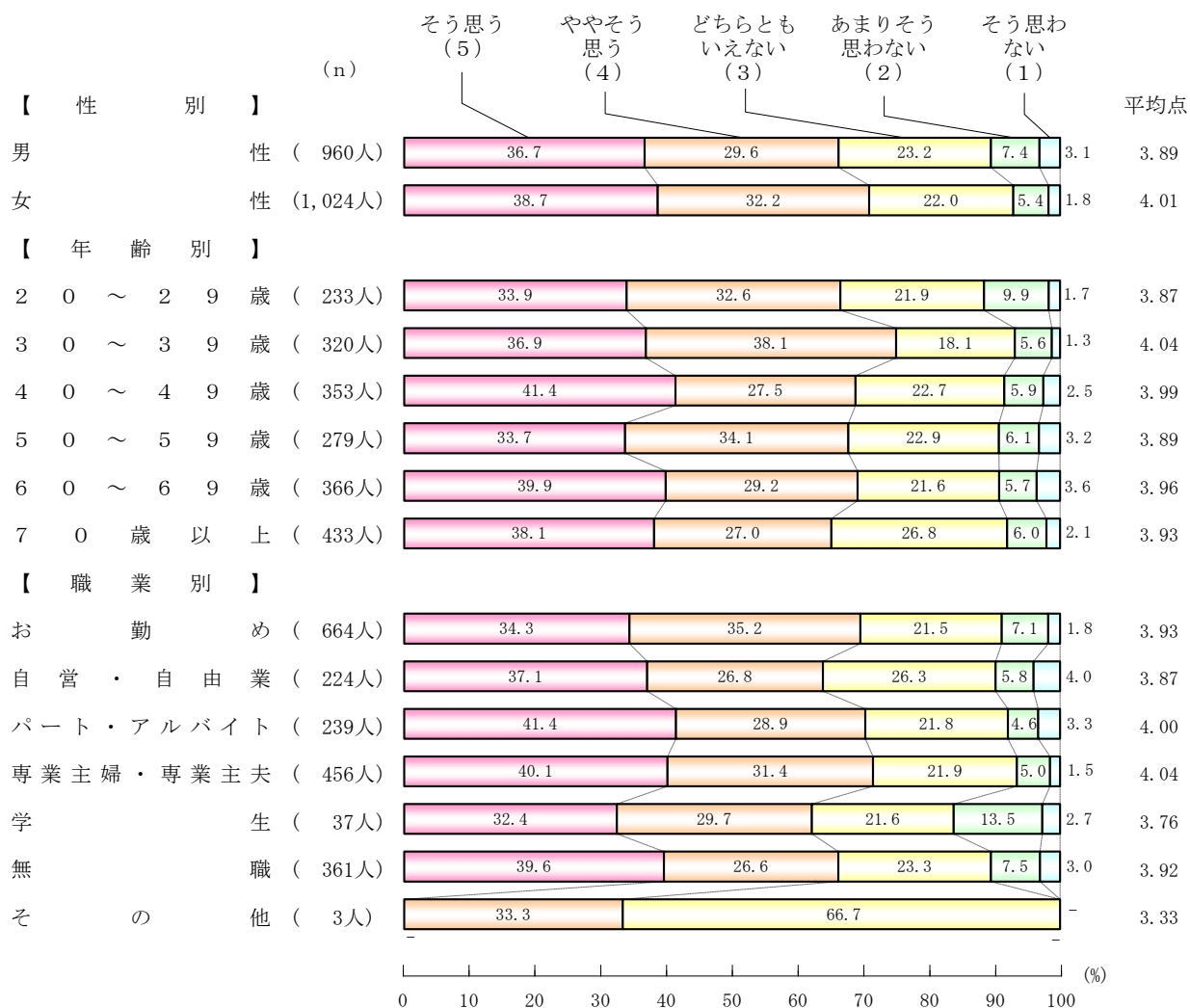
\* 平均点は「そう思う」5点、「ややそう思う」4点、「どちらともいえない」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点でウエイト処理したものである。

裁判員制度の実施により期待することを、9項目の内容について聞いたところ、平均点が最も高かった項目は『裁判がより公正中立なものになる』(3.95点)となっており、以下、『裁判の結果(判断)に国民の感覚が反映されやすくなる』(3.93点)、『裁判がより信頼できるものになる』(3.88点)、『裁判所や司法が身近になる』(3.79点)、『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』(3.74点)、『裁判の結果(判断)がより納得できるものになる』(3.71点)、『裁判の手続や内容がわかりやすくなる』(3.65点)、『事件の真相がより解明される』(3.62点)、『裁判が迅速になる』(3.45点)となっている。

Q 6 (a) 裁判がより公正中立なものになる



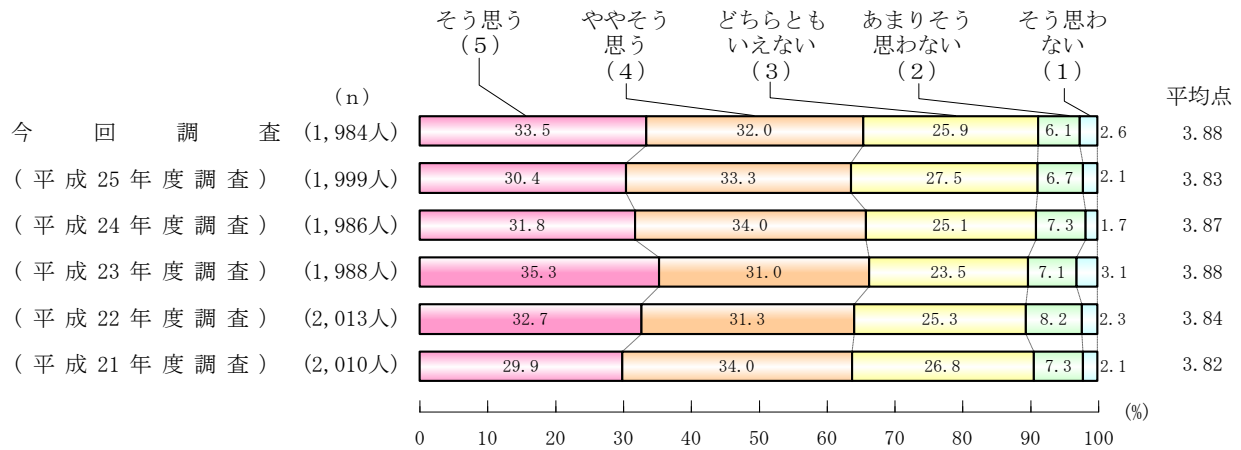
裁判員制度の実施により『裁判がより公正中立なものになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は68.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は8.8%となっている。



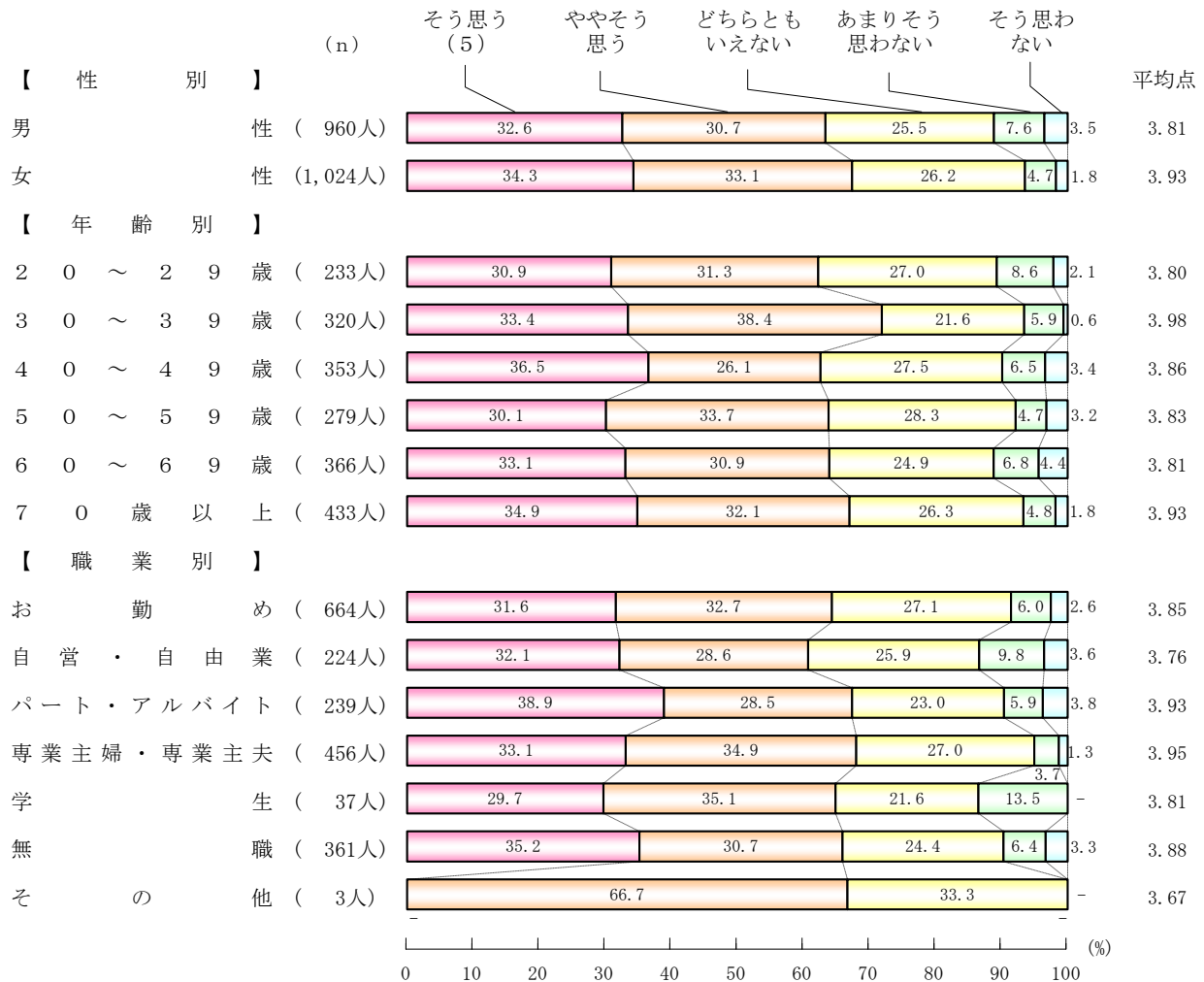
『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、女性で高く、年齢別では、30代が最も高くなっている。職業別では、学生が最も低くなっている。



Q 6 (b) 裁判がより信頼できるものになる

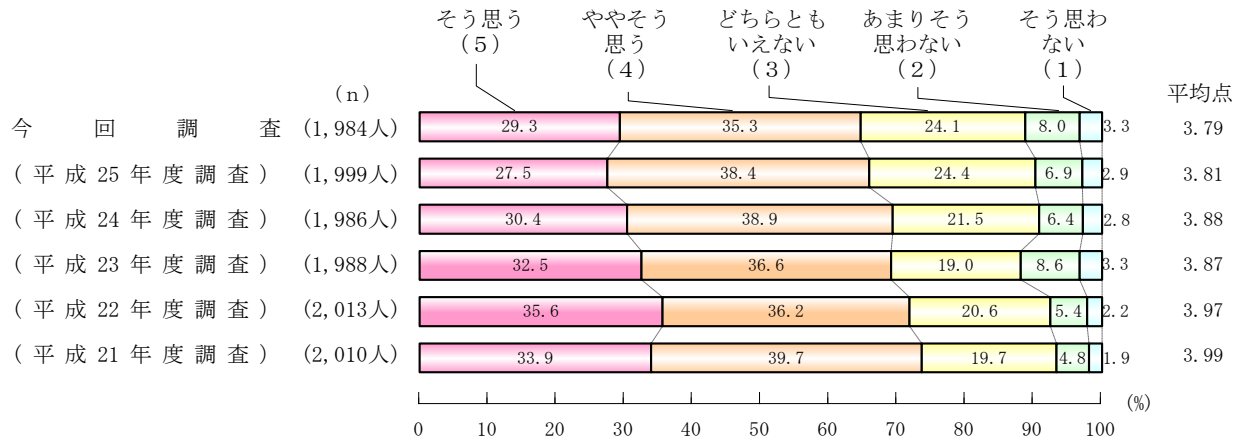


裁判員制度の実施により『裁判がより信頼できるものになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は65.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は8.7%となっている。

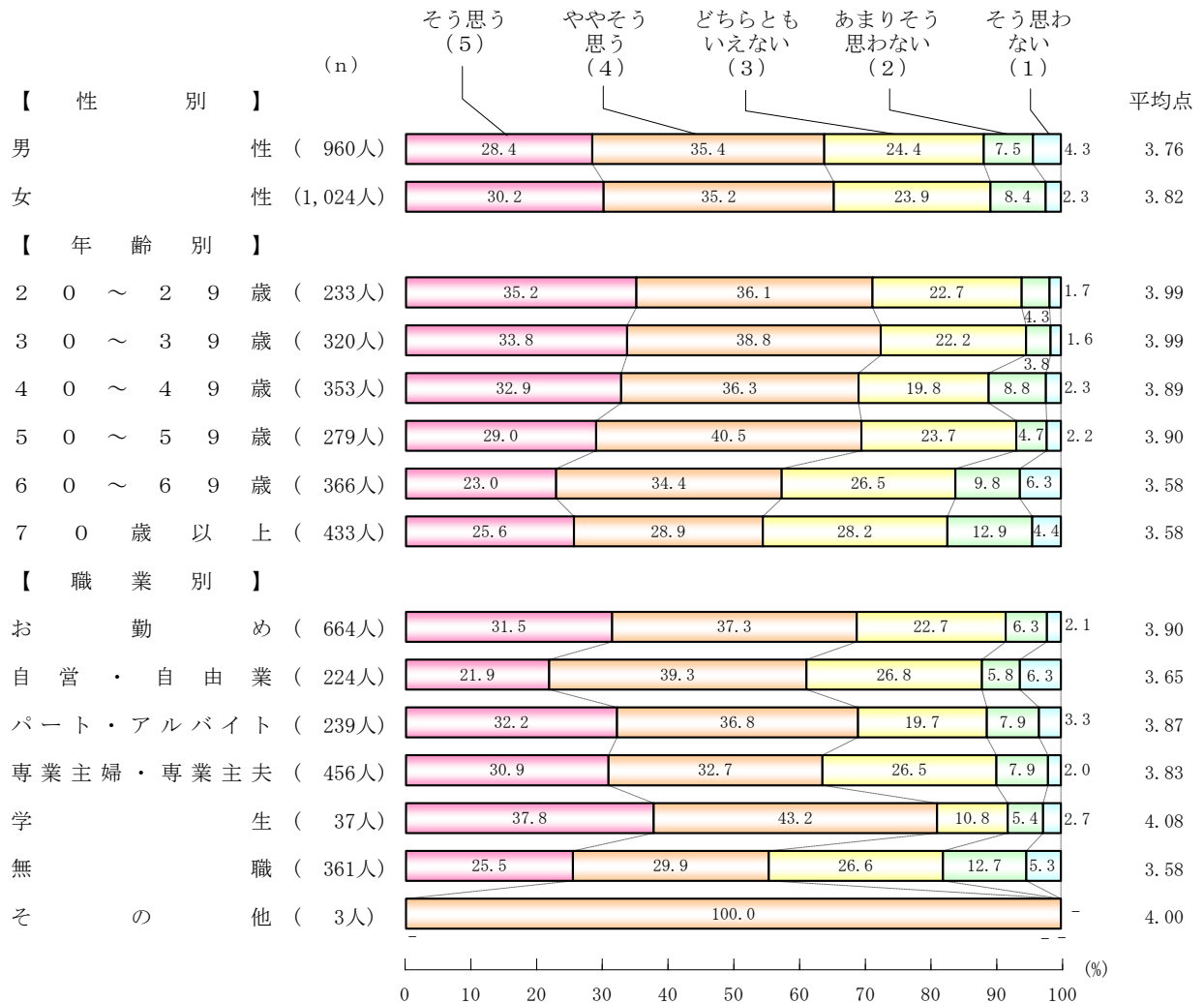


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、30代が最も高く、職業別では、自営・自由業が最も低くなっている。

Q 6 (c) 裁判所や司法が身近になる

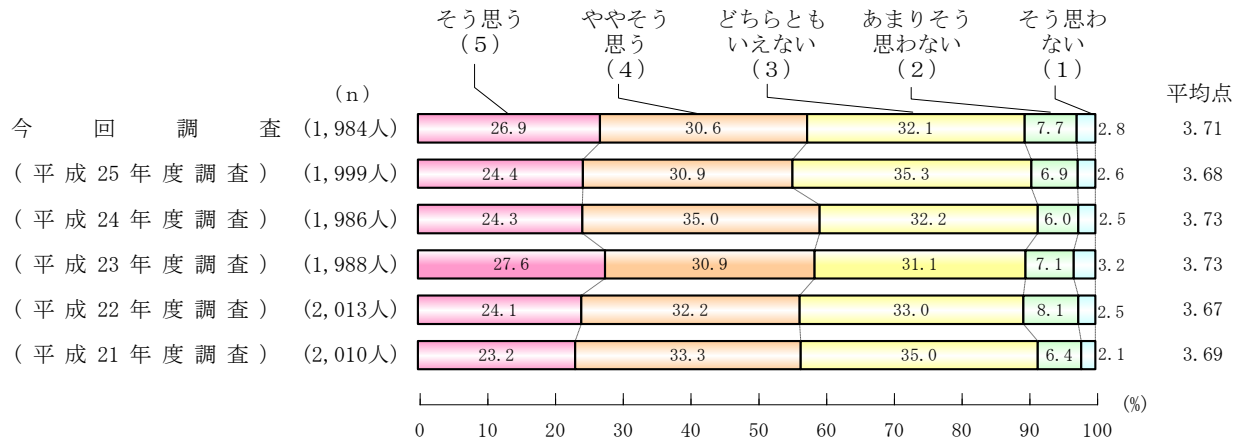


裁判員制度の実施により『裁判所や司法が身近になる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は64.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は11.3%となっている。

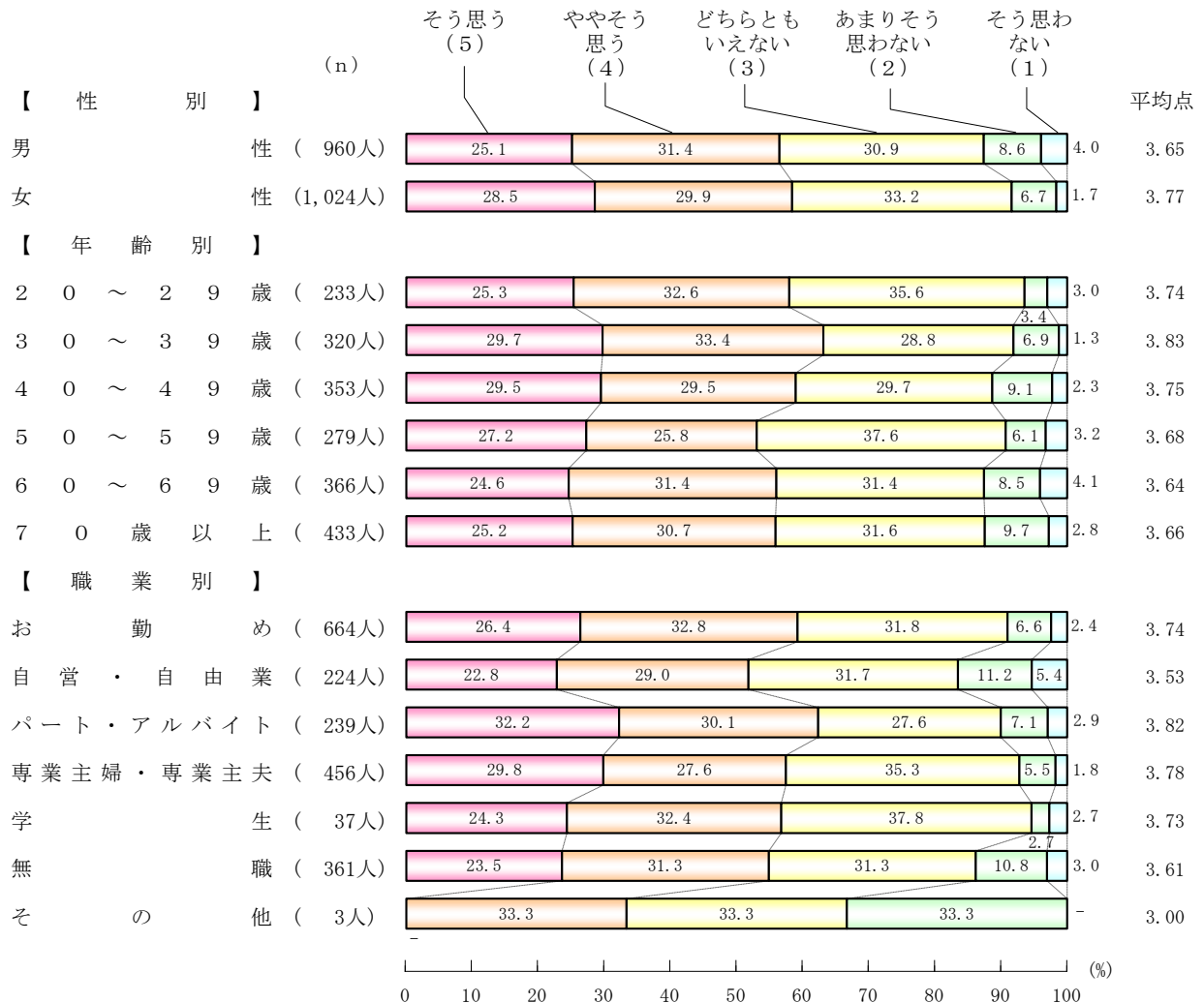


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も低く、職業別では、無職が最も低くなっている。

Q 6 (d) 裁判の結果 (判断) がより納得できるものになる

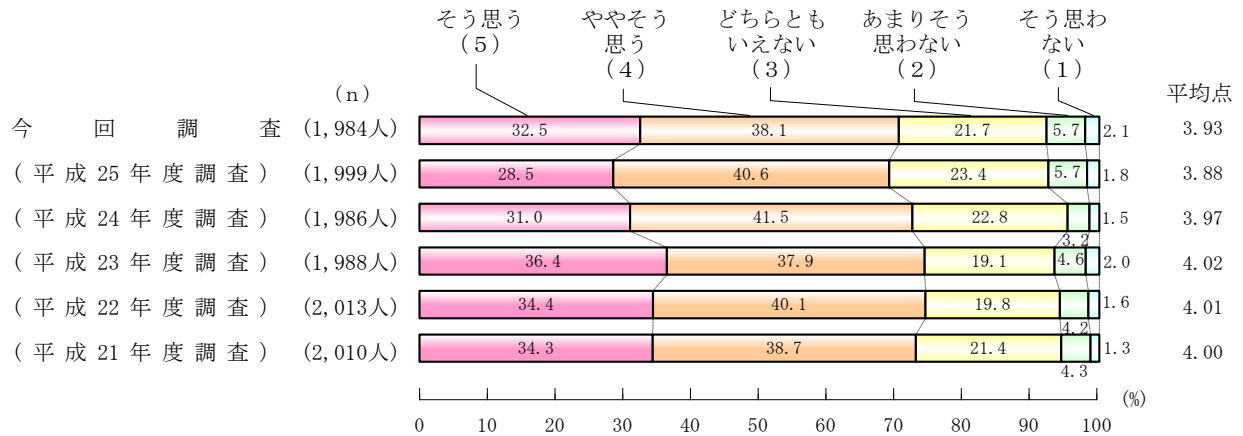


裁判員制度の実施により『裁判の結果 (判断) がより納得できるものになる』ことに対する期待では、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)は57.5%、『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)は10.5%となっている。

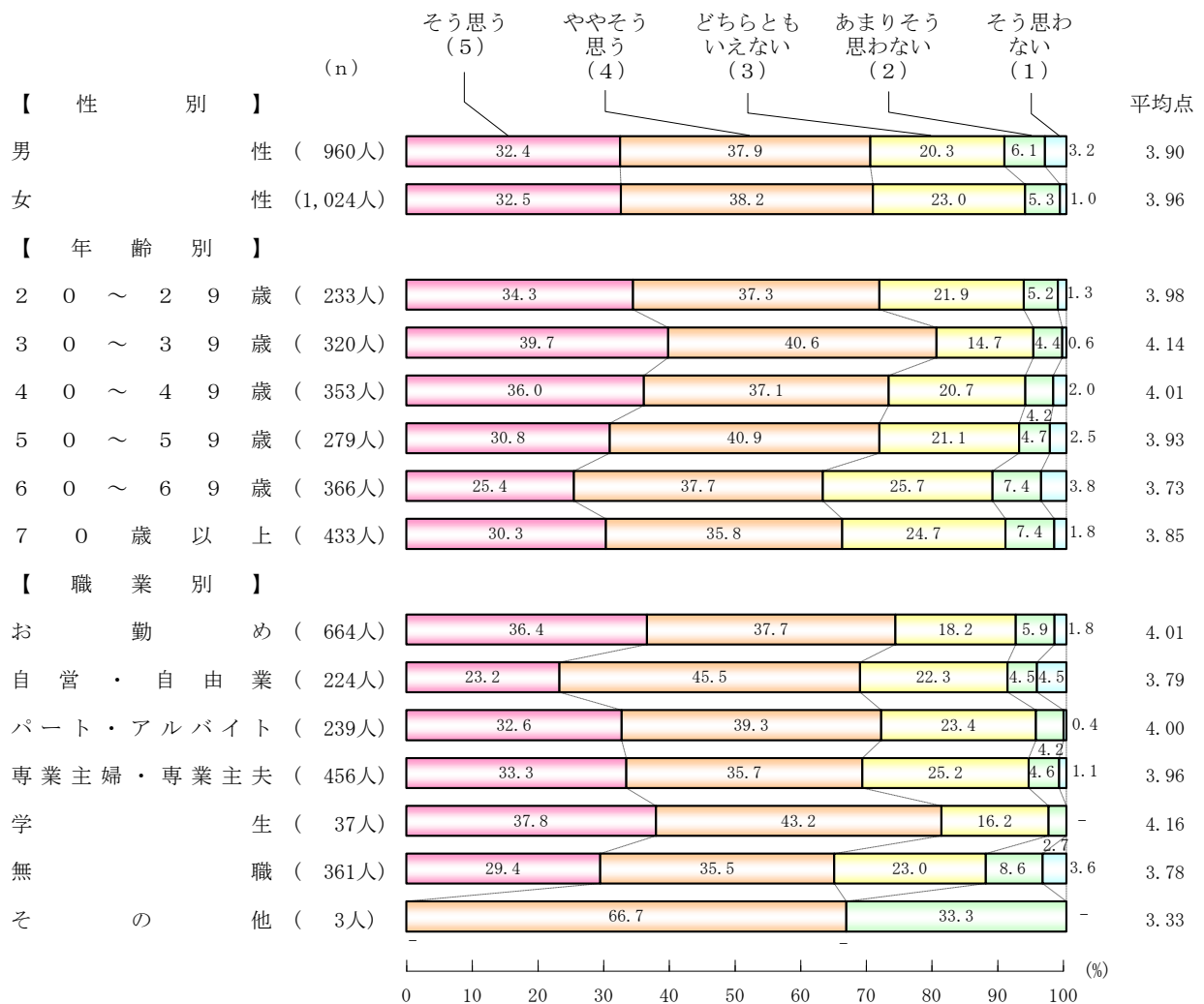


『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、30代が最も高く、職業別では、自営・自由業が最も低くなっている。

Q 6 (e) 裁判の結果 (判断) に国民の感覚が反映されやすくなる

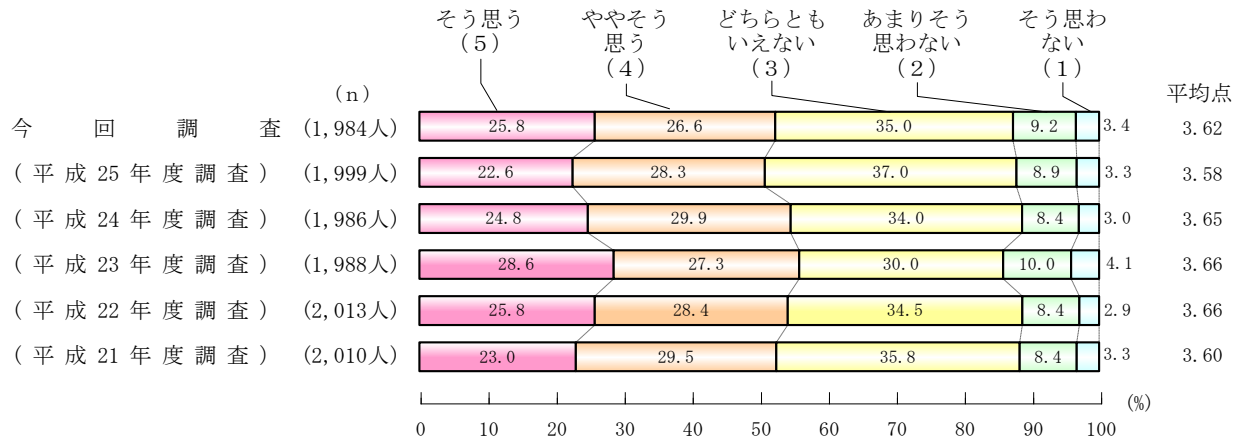


裁判員制度の実施により『裁判の結果 (判断) に国民の感覚が反映されやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)は70.6%,『そう思わない』(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)は7.8%となっている。

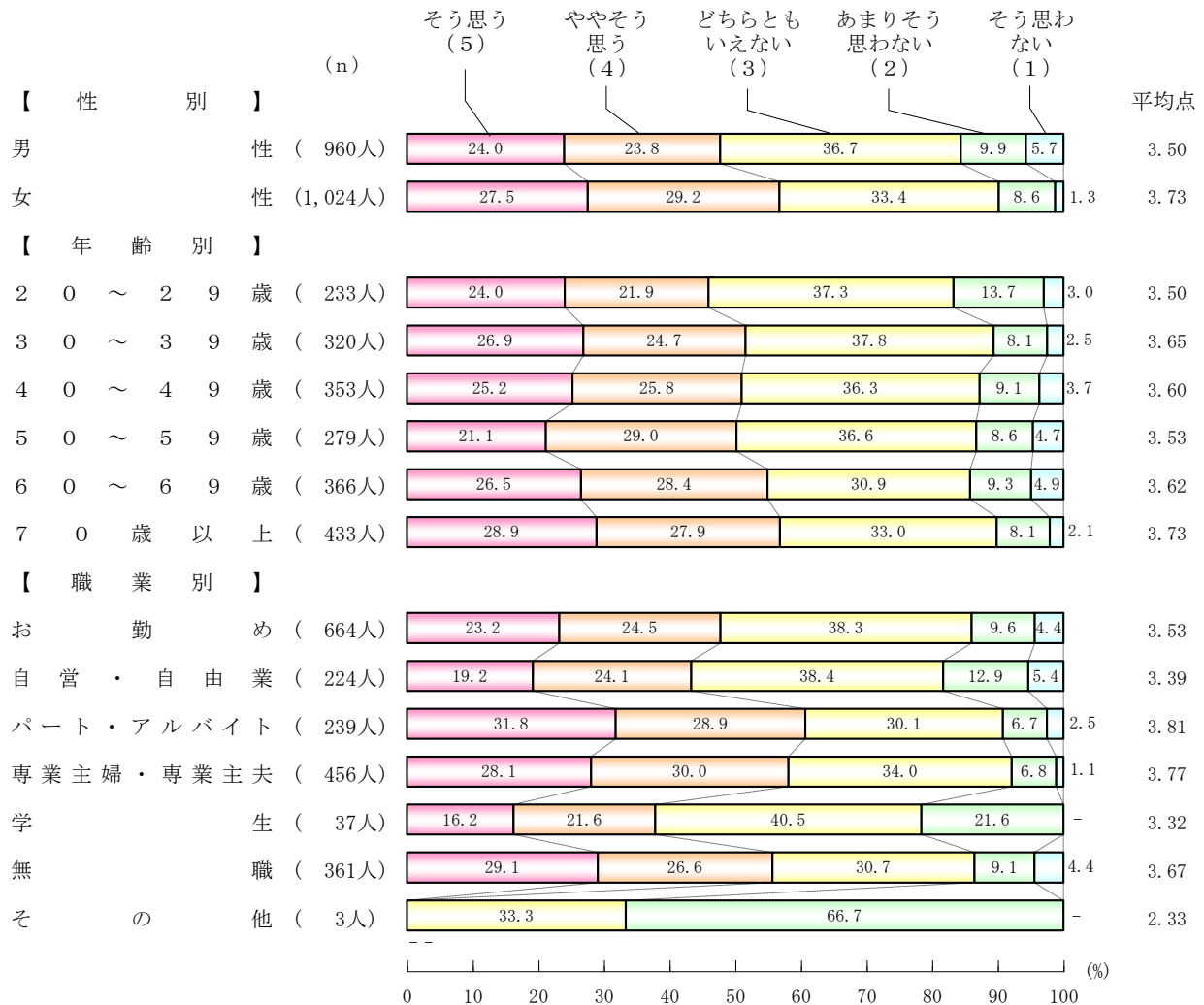


『そう思う』(「そう思う」+「ややそう思う」)と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、30代が最も高く、職業別では、無職が最も低くなっている。

Q 6 (f) 事件の真相がより解明される

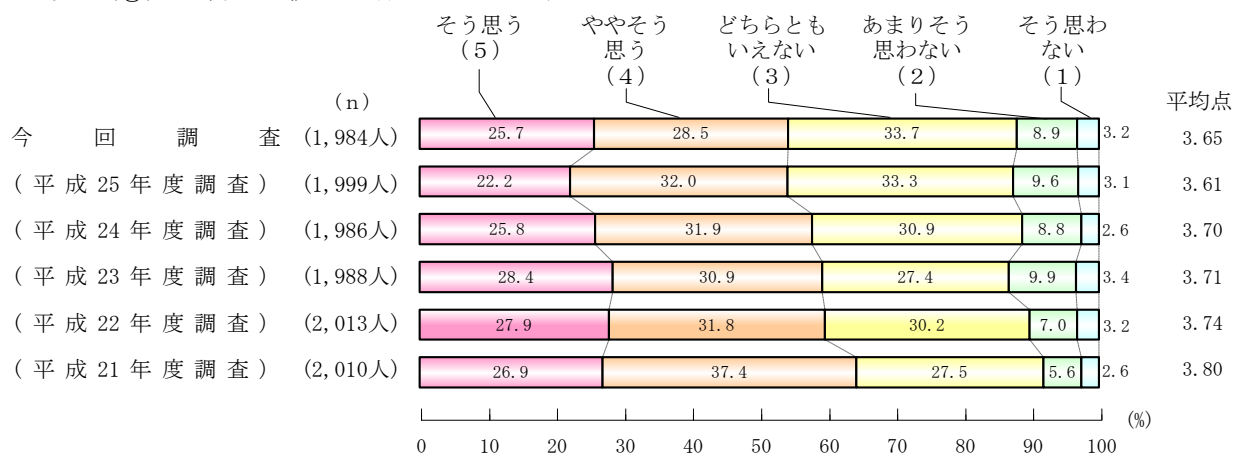


裁判員制度の実施により『事件の真相がより解明される』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は52.4%，『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は12.6%となっている。

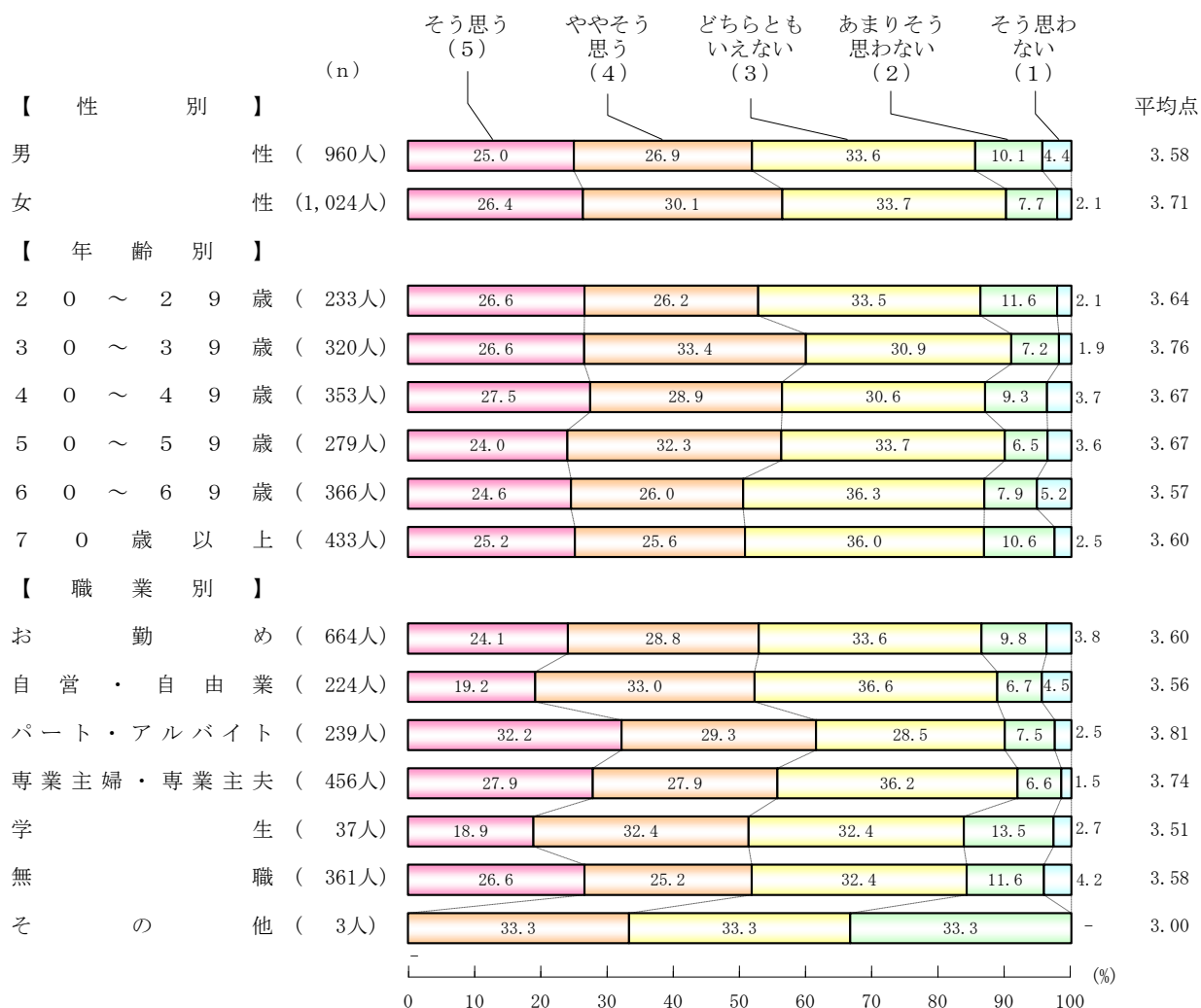


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、女性で高く、年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、パート・アルバイトが最も高くなっている。

Q 6 (g) 裁判の手續や内容がわかりやすくなる

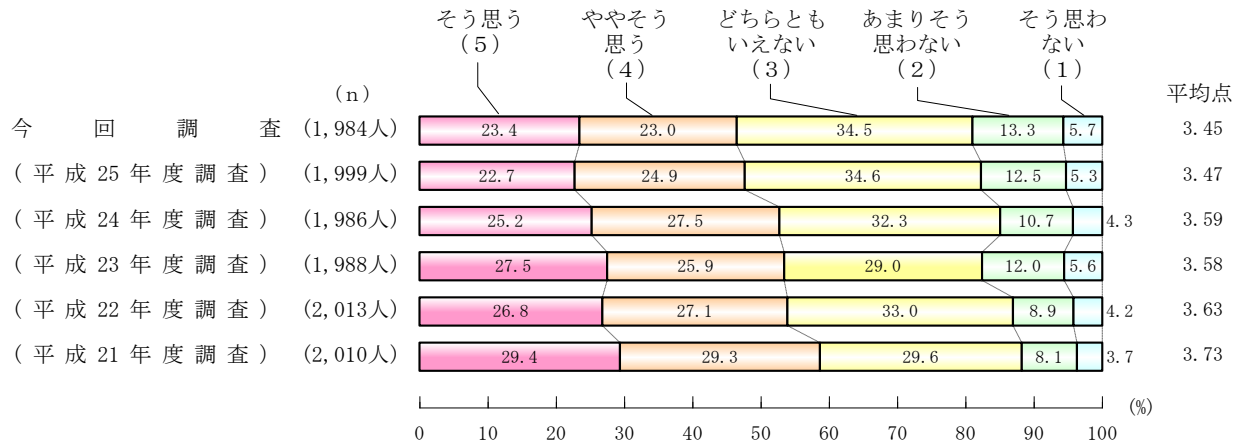


裁判員制度の実施により『裁判の手續や内容がわかりやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は54.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は12.1%となっている。

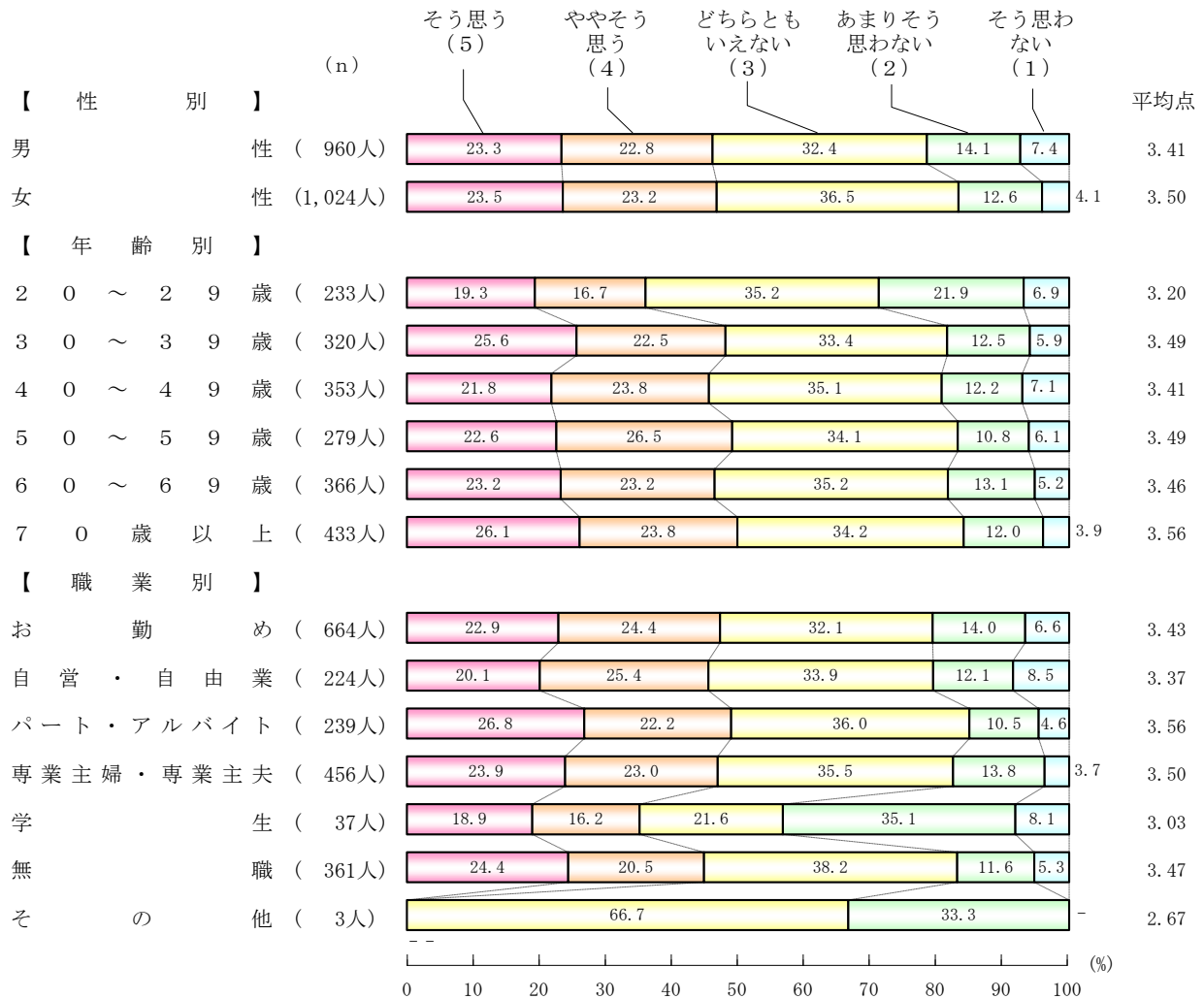


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、女性で高く、年齢別では、30代が最も高く、職業別では、パート・アルバイトが最も高くなっている。

Q 6 (h) 裁判が迅速になる

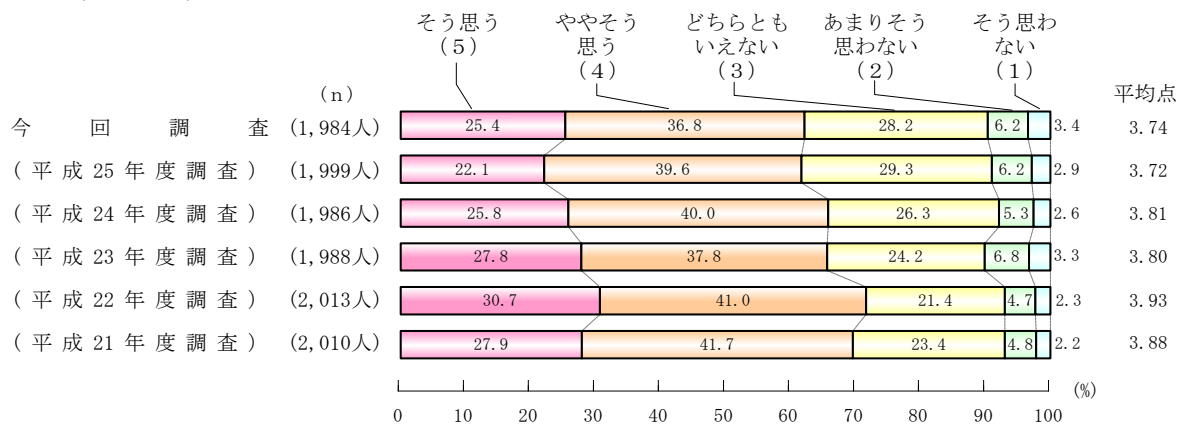


裁判員制度の実施により『裁判が迅速になる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は46.4%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は19.0%となっている。

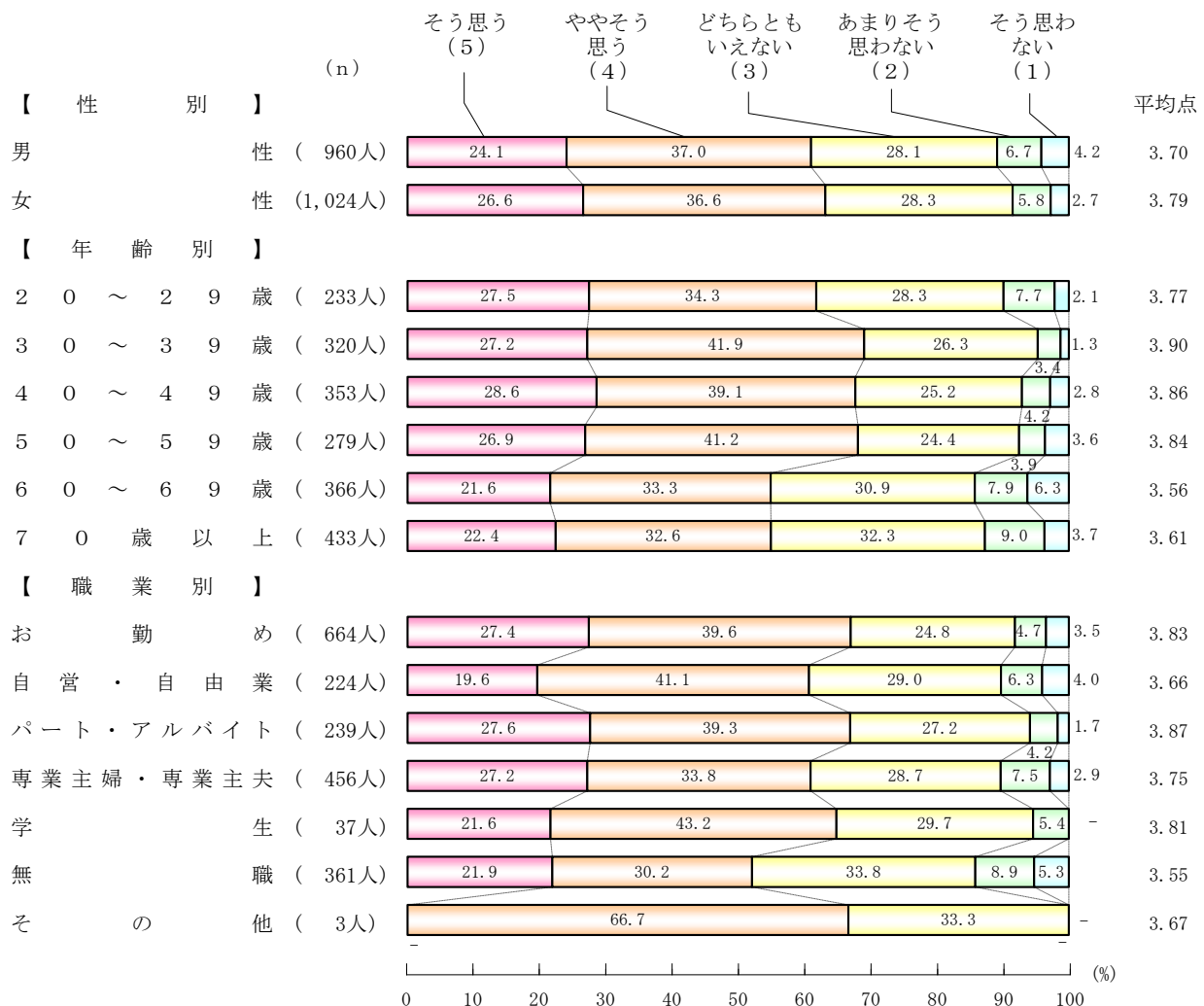


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、20代が最も低く、職業別では、学生が最も低くなっている。

Q 6 ( i ) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる



裁判員制度の実施により『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は62.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は9.6%となっている。



『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別では、30代から50代で高く、職業別では、無職が最も低くなっている。